

平成30年度「知事とのふれあいフォーラム」発言事項に係る対応状況（分野版）

※平成31年2月に実施した第4回及び第5回分

分野版テーマ	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
防災・減災に向けた地域での取組について～洪水・土砂災害から身を守る～	緊急速報だけでなく居住地の周りの被害状況をわかりやすい言葉を用いて伝達できるとよい。	令和元年度の出水期から導入された「警戒レベル」の5段階表示について、市町村とも連携しながら周知を図っている。	市町村が防災行政無線などで警戒レベルを伝える際には、河川水位の情報、洪水警報の危険度分布（気象台が公表）や土砂災害情報など、住民が自ら行動をとる際の参考となる情報を併せて伝えることとされている。	危機管理課 防災計画担当
	けがをしないための対策が一番大事。	「災害から命を守る3つの行動」の一つとして、家具の固定を含む「耐震化」を呼びかける啓発活動を行っている。	5月の「宮崎県防災の日」、8月末から9月初旬にかけての「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」及び3月の東日本大震災の時期や出前講座等で啓発活動を行っている。	危機管理課 防災計画担当
	防災に速効薬はなく、地道に啓発活動を続けていく必要がある。			
	普段から避難経路の確認・確保をしておくことも大事である。	「災害から命を守る3つの行動」の一つとして、「早期避難」を呼びかける啓発活動を行っている。	5月の「宮崎県防災の日」、8月末から9月初旬にかけての「防災週間」、11月5日の「津波防災の日」及び3月の東日本大震災の時期や出前講座等で啓発活動を行っている。	危機管理課 南海トラフ巨大地震対策担当
		平成25年度から市町村の避難経路の整備に係る費用について、補助を行っている。	平成25年度から平成30年度に、のべ33市町村の103箇所の避難路の整備に補助が活用されている。	危機管理課 防災計画担当
	防災士等が保育園等に出向いて防災活動をできる機会を増やしていきたいとよい。	防災士を保育園や自治会、学校等に派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を開催している。	平成30年度は防災士による出前講座を162回実施し、受講者は10,977人であった。	危機管理課 防災計画担当
	県には継続性のある避難訓練をお願いしたい。	平成25年度から市町村が実施する避難訓練に係る経費について、補助を行っている。	平成25年度から平成30年度に、のべ14市町の46地区で、補助が活用された避難訓練が実施されている。	危機管理課 南海トラフ巨大地震対策担当

<p>防災・減災に向けた地域での取組について～洪水・土砂災害から身を守る～</p>	<p>防災ネットワークをさらに充実させ、防災士をはじめとしたしっかりした防災組織が定着するとい</p>	<p>意見等を踏まえてマイハザードマップ作成支援を実施。</p>	<p>マイハザードマップとは、地域住民が地域の実情に合わせて作成する防災マップのことである。マイハザード作成支援を行うことにより、地域の防災力の向上が図られる。</p>	<p>砂防課 計画調査担当</p>
<p>本県におけるサイクルツーリズムの振興について</p>	<p>様々な団体との横連携</p>	<p>ひなた自転車談義所の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県南地域有志による自転車談義所など、地域の様々な団体等が開催する会議への積極的な参加。 ・令和2年より新たに開催されることとなった県内全域の自転車関係者の有志による「ひなた自転車談義所」への参加。 	<p>観光推進課 観光企画担当</p>
	<p>フェリーの活用</p>	<p>宮崎カーフェリーと連携したツアー造成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ「ひなたサイクリング宮崎」による宮崎カーフェリーコースの情報を発信。 	<p>観光推進課 観光企画担当</p>
	<p>イベント開催等の情報発信</p>	<p>ホームページやSNSによる情報発信（H29年度ホームページ開設）。</p>	<p>県内で開催されるサイクリングイベント等の情報を、県サイクリング協会が運営するホームページ「ひなたサイクリング宮崎」やFacebookにより情報発信を行っている。</p>	<p>観光推進課 観光企画担当</p>
	<p>おもてなし体制づくり ウェルカム体制づくり</p>	<p>サイクリスト支援施設の募集～整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅や観光施設等へのサイクルスタンド及び空気入れの設置（H30年度より着手）。 ・サイクリストの休憩施設「ひなたサイクレスト よってね」を県内飲食店等に呼びかけて募集し、サイクルスタンドやタペストリーを設置（H31年度より募集開始）。 	<p>観光推進課 観光企画担当</p>
	<p>カーフェリーにおける輸行スペースの確保</p>	<p>宮崎カーフェリーに対して協力依頼。</p>	<p>宮崎カーフェリーに対し、新船の造船に際して船内に大きな荷物におけるスペースの確保や、港への自転車組立てスペース確保に協力いただくよう依頼を行っている。</p>	<p>観光推進課 観光企画担当</p>

	宮崎のイメージアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・都内サイクルカフェでのPRイベント ・自転車専門雑誌での記事掲載 ・台湾向けTV番組、PVの制作 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都南青山のサイクルカフェにおいて、宮崎自転車旅フェアを開催し県内の観光地やサイクリングルート等のPRを行った。 ・自転車専門雑誌「サイクルスポーツ」で県内の3ルート（日南海岸、西都原、高千穂）を紹介する記事を掲載。 ・サイクルスポーツ誘客促進事業において、日南海岸のサイクリングコースを紹介する台湾TV番組やプロモーションビデオを制作。 	観光推進課 観光企画担当
本県におけるサイクルツーリズムの振興について	町内にはカーブが多いエリアもあるので、道路の整備や安全管理が一番の課題だと思っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリスト向けの案内サインの設置等（高千穂町観光協会）。 ・サイクリングガイド養成講座における安全講習の実施。 ・宮崎県自転車活用推進計画に基づき自転車通行空間の整備を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度観光地域づくり団体支援事業補助金において、高千穂町観光協会がサイクリングマップの作成と道路サイン設置。サイクリストが安全に楽しめる環境を整え、サイクリスト受入体制を強化。 ・サイクリングガイド養成講座において、受講者に安全誘導方法やアクシデント対応方法等についての講習を実施。 ・9月に策定した宮崎県自転車活用推進計画に基づき、モデルルートの整備を推進することとしており、今年度は試行として一部区間（宮崎市内海）の整備を行う。 ・令和2年度も、引き続き、モデルルート及び大規模自転車道の整備に係る交付金事業を要望中。 	観光推進課 観光企画担当 道路保全課 環境安全・市町村道担当